

## 2019年こだま俳壇（4月）

友がいて友と祝える喜寿の	角田 英昭
何事もなかったように桜咲く	鳥海 敏雄
柿若葉となりに赤子生まれたり	島田多嘉子
姿勢良き老の二人に花吹雪	松尾佐知子
戻る燕の滑空街の絵に	後藤 貞夫
遠蛙つくねんと聞く休耕田	本山 文子
彫深き戦碑を覆ふ櫻かな	田中 一男
葱坊主厨の隅で顔を出し	柳瀬 節子
春うらら丹沢の山高くなり	白井保次郎
花冷えや老女の面のうつむきぬ	友井 眞言
百寿へとよき人生の菊の道	三井 光子
本棚を眺め蛙の目借り時	木村 武子
青空に花びら映り門出かな	常世田芳子
「噛む」をやめ初蛙の声に耳すます	中村 桂子
悲しみが一休みする花の宴	高橋 和江
夕桜黒板塀に三味の音	瀧澤 正行
歳とるは智慧をつむこと花杏	講師・太田 土男